



スマホを使った写真報告書簡単作成アプリ「123Reporter」導入企業から利用者の生の声をお届け！

【導入企業】

株式会社
ファイブエーカンパニー

業務管理部 小侯良太郎さん
巡回清掃業務課 中根琢さん

「123Reporter」の導入事例や便利な機能をご紹介しますこのコーナー。今回はエンタープライズ版をお使いの(株)ファイブエーカンパニー様からお話を伺いました。

インタビューに答えてくれたのは、業務管理部の小侯良太郎さんと巡回清掃業務課の中根琢さん。小侯さんは社内のIT担当として、定期清掃と巡回清掃の両部隊からの意見を吸い上げ、123Reporterの導入を担当しました。

また、中根さんは専用のバイクで施設を巡回して清掃を行う巡回清掃の部隊に所属しており、実際に報告書を作成しています。

Q 以前の状況と、123Reporter導入の経緯をお聞かせください。

小侯 弊社はアルバイト・パートが多く、パソコンが上手く使えないスタッフも多くいます。報告書作成は現場から戻っての事務作業になりますが、勤務・残業時間が長くなってしまいうことが問題でした。導入によって、それらを解消できるのではないかという話になりました。

中根 これまでデジカメで現場の写真を撮っていましたが、それをまずパソコンに移さないといけない。パ

報告業務が4割短縮！ 専用スマホを購入しても 十分に元が取れています



社内に専用の端末置場が用意されており、そこにiPhoneがずらりと並ぶ。各自が外出時に端末を持ち出す

ソコンが苦手だとケーブルをどこに刺すか、どのフォルダに入れるかなど、個人差がありました。

小侯 過去、データ移動の際に誤って写真を消してしまうこともありました。123Reporterは撮影した写真がサーバにバックアップされる点もいいですね。

中根 写真が消えたり、撮れていなかったりする場合、その日のうちに再撮影に行かなければいけないので大変でした。いまは撮った写真がその場ですぐに報告書へ反映されるので、入れ違いといったミスもほとん

ど発生しなくなりました。

小侯 当初はスモールスタートを検討していましたが、使ってみた感触が非常に良かったのでエンタープライズ版を20アカウント契約し、123Reporter専用端末としてiPhone 20台を用意する、本格導入となりました。

Q 端末は1人1台ですか？

中根 車両に対して1台です。端末ごとに使用するアカウントを決めており、各自が外出時に持ち出します。現在、定期清掃と巡回清掃の写



中根さん(左)と小侯さん(右)

真報告書に123Reporterを使用しているのですが、定期清掃の部隊に車が8台、巡回清掃の部隊にバイクが12台あるため、計20のアカウントが必要になりました。

Q 作成時間は短縮されましたか？

中根 月末の事務報告にこれまで8時間かかっていたものが5時間になりました。巡回清掃の現場は390件と多く、1人が1日に5~6件を回ります。私も報告書を作成しますが、主な作成は他のスタッフに任せており、それを月末に確認します。私と同じく報告書をチェックする立場の同僚が複数人いて、個人差はありますが、時間は半減しましたね。ミスがあった場合の修正も私の仕事なのですが、導入後、修正作業はほとんどなくなりましたね。

Q 月額1,500円という費用感はいかがでしょう？

中根 利用費と残業代のコスト計算をしています。以前よりも絶対的に下がっています。導入から3、4か月と慣れるに従って、残業時間が少なくなる効果がきめんに出てきました。元が取れるのはもちろん、労働時間を短くするという、当初の目的も十分達成できたと言えます。

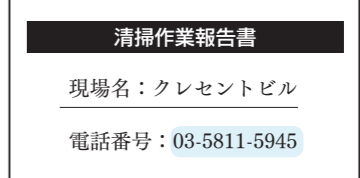
Q オリジナル書式をお使いいただけていますが、早い段階から作成を決めていたのですか？

小侯 弊社のお客様提出用書式には

123のここが便利！
「初期値登録」を使って
現場固有の文言を自動入力

初期値登録とは現場情報に紐づけて、任意の文言を自動入力させる機能です。例えば「連絡先(電話番号)」のような、現場ごとに異なっており、かつ決まった文言を入力する場合は、初期値登録を行うことで、登録した内容(この場合は電話番号)を自動入力させることができます。(例示のケースだと電話番号)をわざわざ音声入力やプルダウンによる入力を行わなくても済むため、より早くデータを入力できます。

現場選択画面で「クレセントビル」を選択すれば、報告書の現場名の欄にクレセントビルが自動入力されるだけでなく、事前に入力しておいた電話番号も自動で入力されます。また、初期値登録はセットアップ時にご記入いただく「現場登録申請書」を使って登録するので、後から内容を追加・変更できるのも特長です。



必ず表紙が付きます。標準書式には表紙付きがありません。写真報告の部分だけ123Reporterで作るという案もありましたが、表紙のためだけに建物の銘板をデジカメで撮り、事務所で合成するのは、これまでと手間はあまり変わらなくなります。

とはいえ、表紙には物件番号が入るもの、入らないものがあるので、「初期値登録」(囲み参照)というものを提案され、採用しました。

当初はプルダウンで選択するやり方を考えていましたが、内容の変更があるたびに書式の修正が必要とのことでしたので、管理画面上で追加・変更ができる初期値登録にすることを決めました。

Q 導入前には想定していなかった便利などはありませんか？

小侯 報告書を使わない、ちょっとした業務報告で大活躍しています。例えば日常清掃の現場で、粗大ゴミがいっぱいになっている状況を、これまで写真だけメールで流していましたが、123Reporterなら写真にコメントが添えられますし、何よりその報告作業を現場で完結させられるのが楽ですね。

中根 こういった連絡事項は頻繁に発生します。私が担当するのは小さ

いマンション、アパートが多いのですが、お客様(オーナー)はあまり現場を見に来ないため、ちょっとした状況報告をコンスタントに行うと喜ばれます。それがよりスピーディに行えるようになりました。

小侯 123Reporterの導入を軸にさまざまなことがガラリと変わりましたね。たとえば弊社は以前から「Salesforce」という営業支援システムを使っており、スマホを使って物件や担当従業員、請求状況などを外出先でも閲覧できます。ただ、一部の社員しか見ていませんでした。今回の導入がきっかけで支給したiPhoneを使って、誰でも情報共有ができるようになり、社内のIT化が一気に進みました。

中根 日報も、手書きのものから123Reporterに切り換えました。導入からまだ半年なので、これからもっと仕事のやり方が変わっていく可能性がありますね。

Q 最後に、同業者のみなさんにひと言をお願いします。

小侯 私たちの仕事は労働集約型で、いろいろな方がいらっしゃいます。シンプルなことは強みであり、この業界にマッチした素晴らしいアプリだと感じました。

アプリの詳細、無料体験版のお申し込みは「123Reporter」ホームページ (<http://bc-ol.com/123-top.html/>) をご覧ください